



心臓血管外科・血管外科ご紹介のポイント

心臓血管外科・血管外科部長 **河田 光弘**

東京都健康長寿医療センターと聞いてどのような病院をイメージされるでしょうか？

高齢者専門の医療機関というイメージは定着していると思われますが、実際は急性期病院であり外科診療も救急医療も積極的に行っている医療機関であるという事を広く知っていただけると幸いです。

急性 A 型大動脈解離、腹部大動脈瘤破裂、下肢動脈閉塞と言った怖い病名で救命のために救急搬送される患者さんは、大学病院救命救急センターや 3 次救急病院に収容され、そこで緊急手術をしてもらうイメージがあると思います。ところが搬送された救命救急センターで別の患者さんの緊急手術対応中であった場合は、そこで緊急手術が直ぐに出来ないという事態も起こります。そんな時に、当院心臓血管外科・血管外科は、大学病院救命救急センターや 3 次救急病院からの転院要請を受け入れ、迅速に緊急手術をすることが可能な病院でもあります。急性大動脈スーパーネットワークの一員で、緊急大動脈支援病院を担っております。緊急手術の患者さんは、30 歳代の若い方から 90 歳代の方まで年齢に関係なく受け入れしております。緊急手術の場合、心臓血管外科医、血管外科医が協力して迅速な対応をします。

かかりつけの患者さん、当院は初診の患者さんも分け隔てなく受け入れいたします。

外来にご紹介いただける落ち着いた患者さんについては、術前検査を行い、可能であれば自己血貯血を行い、予定手術で治療を行います。どんどん増やして行きたいと思っております。

この場合、ご高齢であるため、他の医療機関では断られてしまうかもしれないと懸念されている患者さんは、当院の強みである高齢者特有のフレイル、栄養、リハビリの各専門家の対策でサポートし、術式はカテーテル治療（ステントグラフト、TAVI、EVT など）、病態によっては open surgical repair（開胸、開腹をして行う手術）を、術前準備をしっかりと行い安全に手術します。



ご紹介のポイント：心臓血管外科と血管外科の対象疾患をお示しします。

心臓血管外科：主に人工心肺を使用する手術が多い。

横隔膜よりも頭側の心臓・大動脈手術

→冠動脈疾患、胸部大動脈瘤、胸腹部大動脈瘤、
大動脈解離(急性・慢性・A型・B型)、弁膜症、慢性心房細動、
重症心不全、肺塞栓症、成人先天性心疾患

血管外科：人工心肺は使用しない手術。

横隔膜よりも尾側の大動脈・末梢血管手術

→腹部大動脈瘤、腸骨動脈瘤、内臓動脈瘤・狭窄症、
下肢閉塞性動脈硬化症、末梢動脈閉塞症、頸動脈狭窄症、
深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、血液透析用バスキュラー
アクセス関連、リンパ管に関わる疾患



(左)血管外科専門部長 松倉満、
(右)心臓血管外科部長 河田光弘

心臓血管外科専門医としては心臓血管外科も血管外科も
区別はありません。心臓血管外科 3 人、血管外科 2 人が取得
しております。

皆様からのご紹介をお待ちしております。

特別講演会・連携懇親会開催報告

7月24日(水)板橋区文化会館にて特別講演会・連携懇親会を開催いたしました。

247 名の方にご参加いただき、短い時間ではございましたが連携を深める貴重な機会となりました。ご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

今後も地域や病院の先生方との連携をより一層深め、地域医療の充実に貢献していけるよう、職員一丸となって邁進してまいります。



各種問い合わせ



●医療連携係(直通) ☎03-3579-6963 (平日 9:00~17:00)

●予約センター ☎03-3964-4890 (平日 9:00~17:00)

●緊急受診・緊急入院のご相談 ☎03-3964-1141

※「緊急受診(入院)の依頼です。〇〇科の連携当番医につないでください」とお話しください。

●脳卒中科ホットライン ☎080-4116-1141

※脳卒中の発症が疑われる場合にご活用下さい。

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。